



JAL不当解雇撤回ニュース

No373号 2014.04.30
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.ialkaikotekkai.co>

4月23日 第4回総会報告 福岡支援共闘会議

不当解雇の全面解決まで闘い続ける!

結成から4年を迎えた福岡支援共闘会議は4月23日に、福岡市内で第4回総会を開催しました。参加した支援者80名は、高裁での勝利判決を求めると同時に、この不当解雇が全面解決するまで闘うことを決意しました。尚、総会に先立ち、博多駅前で行われた。尚、総会に先立ち、博多駅前で行われた。



【写真中央】主催者挨拶をする石村善治氏

総会の冒頭、福岡支援共闘会議代表で憲法学者の石村善治氏と自由法曹団福岡支部長の山本一行氏から、主催者を代表しての挨拶がありました。

その後弁護団の山口泉弁護士より、控訴審で原告側が立証した部分を中心に、JAL裁判の現状が報告されました。

年間の活動のまとめと今後の方針が提起・採択された後、マツダの原告団より、連帯のメッセージが読みあげられました。

原告6名がそれぞれに決意表明をしました。

パイロットの山口団長は、「経営の最高経営者が解雇の必要はないと認めたものを、裁判所が解雇に合理性があるという判決を出し、司法の存在意義が問われている。利益第一主義の経営か、組合つぶしを許さない安全第一の経営かの対決の闘いである」と述べました。



決意表明をする原告榊原さんと原告団の皆さん



国家公務員労働組合福岡県協議会の蛇島事務局長と、福岡市職労の船越執行委員長から、ともに闘う決意表明が述べられました。

その後、決議文の採択が行われ、総会は県労連の緒方議長の閉会の挨拶と団結ガンバローで締めくくられました。

会場ではカンパ袋も回され、総会の合間には、物品販売へのご協力も頂きました。